

図書館を使って調べよう

今年も夏休みの自由研究のヒントを見つけるためのコーナーを設けています。あわせて「図書館を使った調べる学習コンクール」の入賞作品もご覧になれます。地元のことを調べるには、2階の郷土資料コーナーをご利用ください。

臨時学習室をご利用ください

※7/19日～9/1日の期間、催室は臨時学習室として利用できます。(ただし8/6日～8日、8/16日は図書館行事のため利用できません)



民話まつり「怪談ばなし」 入場 無料

▶8月16日 19:00～20:30
(受付18:30～)

今年は怪談の案内人として斎宮歴史博物館の榎村寛之さんをお招きします。夏の夜の図書館でどんな怖いお話が聴けるのかお楽しみに！



新着図書から



『歴史を変えた100冊の本』
▶スコット・クリスチャンソン&コリン・ソルター / 著
▶藤村奈緒美 / 翻訳
▶エクスマレッジ (028/ク)
『国富論』『グリム童話集』『アンネの日記』『沈黙の春』など、有名な書物に書き記された言葉の力がいかにして世界を形成し、変革をもたらしたか。美しい図版で年代順に紹介しています。



『平和のバトン』
▶弓野純 / 著
▶くもん出版 (J319/ユ)
本書は“次世代と描く原爆の絵”プロジェクトの記録です。「このままでは原爆のことが忘れられてしまう」と被爆体験をした証言者の記憶を広島市内の高校生たちが油絵に描いて記録しました。平和な現代に生きる高校生たちの眼に戦争や原爆はどう映ったのでしょうか。



『夏とおとうと』
▶ふくだいお / 作
▶光村教育出版 (E/フ)
虫取りにかけようとしたお兄ちゃんに弟のしゅんくんがついてきました。ひとりで行きたいのに…でも、読み進めるうちにお兄ちゃんの弟を思う気持ちが伝わってきて胸が熱くなるストーリー。夏休みに家族で読みたい一冊です。

8月 図書館カレンダー
CALENDAR

1 木	絵の展示
2 金	▶8月4日まで
3 土	10:00～ ボランティアによる昆虫教室
4 日	
5 月	休館日
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	14:00～ 楽しいおはなし会
11 日	
12 月	平和祈念展(パネル展示)
13 火	▶8月7日から15日まで
14 水	
15 木	
16 金	19:00～ 民話まつり
17 土	
18 日	「平和についての本」
19 月	休館日
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	
24 土	14:00～ 楽しいおはなし会
25 日	
26 月	休館日
27 火	休館日
28 水	
29 木	荻野ばんご会展示会
30 金	▶8月21日から9月1日まで
31 土	

郷土史・風俗

第65回 荻野藩の近江分領地

部田村

慶長5年(1600)関ヶ原合戦の後、家康から土方雄氏に荻野で1万石、近江栗太郡内4か村で2000石合わせて1万2000石の所領を与えられました。この中の部田村は、中世、青地氏の根拠地で、砦がありました。荻野領になってから、青地氏が代官を務め、年貢の取り立て、道路、用水普請^{※1}など村政の一切を任せられていました。宝永2年(1705)三世雄豊は、次男久長にこの部田村1000石を与え分家を創立しました。久長は旗本として江戸千駄ヶ谷に屋敷を構えていました。

その後、部田村は青地町となり小槻神社、西方寺など土方家にゆかりの社寺があります。西方寺には殿塚があり、代官青地氏の墓もあります。土方家代官宅地は志津小学校となり、その一隅に城跡の記念碑が残されています。

※1「普請」土木工事や修理を行うこと

上笠村・南笠村・羽栗村

上笠村は、琵琶湖の東、中山道草津宿に近い交通の要地、荻野藩400石、淀藩400石の相給地^{あいきよめち}でした。ゆかりの天満宮、宗円寺があり、庄屋^{※2}は小森氏が務めていました。

南笠村は、荻野藩300石、膳所藩300石の分割所領の村でありました。ここは草津宿の南の端、狼川が村の南を流れ、東は東海道路が津へ通じ、矢橋湊も近く、海陸の交通の要所であり、村は東海道^{おほみち}の助郷人馬^{※3}や街道筋の掃除などの出役が課せられていました。

羽栗村は、荻野藩400石、残り76石は隣の膳所藩の所領となっていました。この村は瀬田の唐橋を渡り瀬田川沿いに下った丘陵地の麓に東西に伸びる集落です。福円寺と法林寺があり、法林寺の本堂に左三つ巴の土方の家紋額があげられています。

西方寺から望む青地地域▲

町長のひとり語

The Story of our Mayor



夏休みといえば観光ですが、観光といえは荻野町です。私はレジャーも地元で！ということ、家族とのレジャーの多くを町内で楽しんでいきます。遠くに行つたつもりであえて宿泊もします。もとは遠くに行く時間的余裕がないという状況で、レジャーのついでに町の観光の実情を学ぼうと思つて始めたことなのですが、これがなかなか快適です。

観光、レジャーというと遠くに行くものだと感じがちですが、近くで観光というのは本当に楽です。交通費や時間がかからないだけでなく、何か忘れ物(私の場合にはコンタクトレンズ用品をよく忘れます)をしてもすぐに取りに帰ることができる。食べきれない料理を保存容器に詰めてその夜のう

Theme 05 夏は荻野でレジャー

ちに実家におすそ分けをしに行つたということもあります。評判のスポットも、近くだと「いつでも行ける」と思つて、そのまま行かないで終わってしまうということが多いのではないのでしょうか。しかし、行かないで終わるにはもったいない、そんな良質の観光資源が荻野町にはたくさんあります。

近くだからこそ隙間の時間でもレジャーに出かけることができます。今回の広報では登山やキャンプなど夏の荻野町を楽しむためのポイントがたくさん紹介されています。ぜひ、この夏は遠くからやつて来たつもりになって町内で楽しみませんか。そうすればもっと荻野町のことを好きになれると思います。